

海の安全レポート

第七管区海上保安本部 海の安全推進本部
TEL 093-331-6395(交通部安全対策課)

第220号 令和7年7月号



BACKNUMBER(二次元コードは右側をご利用ください。)

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyomu/kyunan/marine_anzen_report/

安全に海水浴を楽しむために！

01 管理された海水浴場を利用

開設されていない海水浴場では、

- ライフセーバーや監視員等の未配置による事故発生時の発見・救助の遅れ
- 遊泳ネットの未設置により、クラゲ等の危険な海洋生物との遭遇
- 遊泳区域が示されていないため水上オートバイ等との事故などの危険があります。

事前にホームページ等で情報を入手し、適切な安全管理が行われている海水浴場を利用しましょう。



【事件事例1】

男性(40代)は、複数人で海水浴場にてBBQ(飲酒あり)を行っており、海に入り遊泳していたところ、何らかの原因により溺れ死亡したものの。

02 子どもから離れない

子どもは大人に比べ危険に対する判断ができません。

思いがけず小さな波でも足をすくわれ、溺れることがあるので、保護者の方は常に離れないようにしましょう。

また、万が一に備えライフジャケットを着用させましょう。



03 お酒を飲んだら泳がない

アルコールにより、判断力や集中力、運動能力の低下などが引き起こされ、本来の泳力も低下し、溺れやすくなります。

また、溺れやすくなるとともに、溺れたときの死亡率も高くなります。

お酒を飲んだら海に入らないことを徹底しましょう。



【事件事例2】

男児(11歳)は、子ども複数人のみで海岸にて磯遊びをしていたところ、足の届かない深い場所にはまり、溺れ死亡したものの。



04 離岸流に注意

沖に向かって発生する強い流れ「離岸流」に注意しましょう。

沖に流された場合は、落ち着いて海岸と平行に泳いで離岸流から脱出しましょう。

ムリに泳がず自身の楽な姿勢で救助を待つことも有効です。



詳しくはウォーターセーフティーガイドを確認／



Water Safety Guide

